

インターセクショナル・フェミニズム ～ふえみ・ゼミ&カフェの挑戦～

ふえみ・ゼミ&カフェは、ジェンダーを切り口に演劇や音楽、アート、お茶やお菓子を楽しむイベント〈ゆる・ふえみカフェ〉と、インターセクショナルリティ（差別の交差性）を軸にフェミニズム講座、調査研究を行う〈ふえみ・ゼミ〉を展開しています。

社会問題に関心を持って話を聞きに行ったら、「子連れお断り」だったり、日本語や専門用語に言葉の壁を感じたり、障害への合理的配慮がなかったり、性差別やレイシズム、ミスジェンダリングに直面したり……。重なり合う差別に取り組むため、私たちはインターセクショナル・フェミニズムを掲げてきました。2023年には、『インターセクショナル・フェミニズム～ふえみ・ゼミの挑戦』という書籍を刊行します。

今回ご支援をいただくふえみ・ゼミ U30 は、若い世代に参加者を限定した、フェミニズムのインキュベーターです（その他イベント・講座は全年齢対象）。社会運動の新陳代謝を促すため、スタッフも若い世代を有給で雇用しています。仲間を見つけ、最初のステップを踏み出し、さらに「卒業」して、自らの運動を作っていくことを願っています。

アドボカシーカフェでは、みなさんと一緒にこれからの社会運動を考えたいと思います。Covid-19 流行以前から配信、リアルタイム字幕を導入し、新しいフェミニズム運動の場をつくろうとしてきた試みを振り返りつつ、活動の輪を広げる機会にできたらと思います。ぜひご参加ください！

■ゲスト：鄭允瑞 ちよん・ゆんそさん 葉山慧 はやま・あきらさん 遠藤純一郎 えんどう・じゅんいちろうさん



大学で社会学を勉強している。卒論のテーマは生殖技術とリプロダクティブ・ヘルス&ライツ。2019年にふえみ・ゼミのゼミ生になり、2021年からスタッフ。



ノンバイナリー（彼/他/they）。クィアの活動家で3月までは学生。2019、20年度ふえみ・ゼミ生。在籍時はあイトリ《平和の碑》撤去に反対する有志の会、フェミニズム×トランスプライツ勉強会などで活動していた。



2022年度ふえみ・ゼミU30&サマーワークショップ参加者。美術大学を卒業後、現代美術に関わる仕事をしながら、性教育カレンダーの制作、ハラスメントの構造を考える勉強会の企画などを行う。2023年で100年となる関東大震災時に虐殺された朝鮮人の追悼式を準備する「ペンニョン」のメンバー。

熱田敬子 あつた・けいこさん



社会学、ジェンダー研究者、中日通訳・翻訳。東京下町育ち。ふえみ・ゼミ及びゆる・ふえみカフェ運営委員。研究テーマは人工妊娠中絶の経験、日本軍性暴力被害者の名誉回復運動、日本及び中国語圏のフェミニズムなど。ジェンダーに関する経験を即興劇で表現し、観客と議論するジェンダーに関する経験を即興劇で表現し、観客と議論するジェンダー・フォーラムシアターに取り組んでいる。

飯野由里子 いのの・ゆりこさん



教育関係の研究センター勤務。社会の環境・制度・ルール・慣行がマジョリティに合わせて調整されてしまっているからマイノリティに対するさまざまな差別が生じるのだという「社会モデル」の考え方を小中学生に伝えるべく奮闘中。子どもに伝えるため、作詞作曲やラップにも挑戦中。

■日時：2023年3月3日（金）13：30～16：00 ※受付時間13：00～

■会場：オンライン開催 —リアルタイム字幕表示あり—

※オンライン会議システム・Zoomを使用。スマホやPC等のインターネット端末から参加いただけます。参加方法の詳細は、お申込みくださった方に開催前日までにメールいたします。聞くだけの参加も可能ですが、この対話の場を一緒につくれるよう、お声を出していただけたら幸いです。参加者さまのお顔は写らないよう初めはこちらで設定しますが、ご発言の際は自主的にお顔を写していただけます。

■参加費：無料 ※先着50名様。申込の締め切りは23年3月1日または定員に達した時点の早い方。

■主催：NPO法人まちぼと ソーシャル・ジャスティス基金 <https://socialjustice.jp/> メール info@socialjustice.jp

■お申込みページ：<https://socialjustice.jp/20230303.html> ※完全事前登録制。当ページからのみ受付。